

## 第1 平成20年度当初予算の概要

### 1 予算編成の基本方針および予算規模

平成20年度当初予算は、歳入面では、平成15年度以降ここ数年は税収が徐々に増えておりましたが、このところの原油・原材料価格の高騰などにより、景気の先行きが不透明になる中、法人二税の減などで地方税が約6億円減、地方交付税等を合わせた一般財源総額は7億円の減となるなど、厳しい状況となっています。

今後、安定した財政運営を続けていくためには、人件費や投資的経費の抑制、アウトソーシングによる経費の節減等さらなる行財政改革に努めていくことが必要であり、本年2月に平成22年度までを期間とする「新行財政改革実行プラン」を策定したところです。

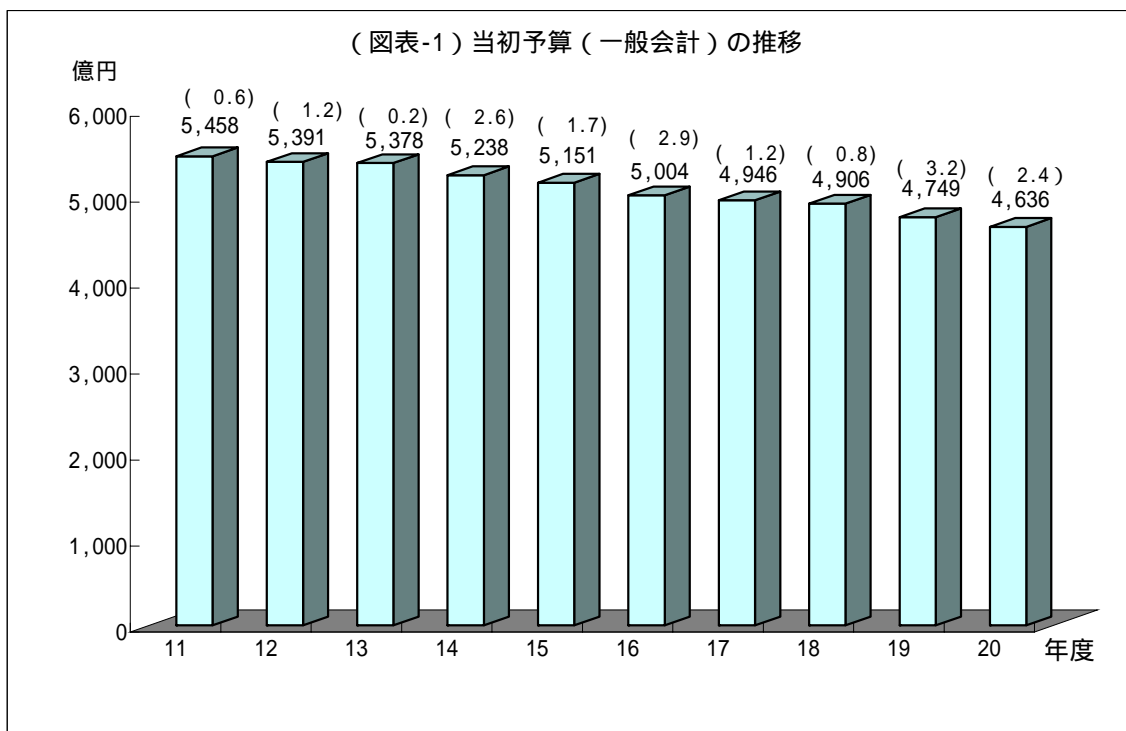
予算編成に当たっては、厳しい財政状況の中で、既存の事務事業の見直しを行うとともに、市町や大学との共働事業など工夫をこらしながら、県民の「暮らしの質」を高めるための施策に重点を置いたほか、現在の経済環境を踏まえ、原油・原材料価格高騰対策を引き続き実施することとしました。

今回の特徴としては、まず、「福井の次の発展に繋がる社会基盤の整備や人づくり」、「ハンディキャップを負っている人たちや地域に光を当てて、支援を強化」、「市町や大学との連携を強化」といった事業に予算を重点的に計上しました。

こうして編成した平成20年度当初予算額は

一般会計	4,636億2,809万円
特別会計	161億4,242万円
企業会計	298億6,062万円
計	5,096億3,113万円

となっており、一般会計について前年度6月現計予算額と比較すると、2.4%の減となっております。



(注) 1 ( )は、対前年度伸び率(%)

2 平成11年度、平成15年度、平成19年度については、当初予算が骨格予算であるため、6月現計としています。